

あすならホーム畝傍 グループホーム 運営推進会議議事録

開催日時	2025 年 9 月 19 日（金）10：00～10：30																							
運営推進会議メンバー （参加者）	1. 利用者、家族：1 名 2. 地域代表：3 名（民生委員会長）、（まちかどネット畝傍）（地域住民） 3. 市・包括職員：1 名（橿原市地域包括支援センター南エリア） 4. 職員：5 名																							
利用者登録状況 （9 月 15 日現在）	＜グループホーム入居者の介護度＞ <table><tr><td></td><td>要支援 2</td><td>要介護 1</td><td>要介護 2</td><td>要介護 3</td><td>要介護 4</td><td>要介護 5</td><td>合計</td></tr><tr><td>9 月</td><td>0</td><td>5</td><td>2</td><td>5</td><td>2</td><td>1</td><td>15</td></tr></table> ※平均介護度は 2.4 の状況									要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	9 月	0	5	2	5	2	1	15
	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計																	
9 月	0	5	2	5	2	1	15																	
報告事項	◎ホームの取り組み 1. 参加者の数名は、運営推進会議の参加が初めてとなる方がおられるため、あらためて「運営推進会議」の概要を説明した。 2. 地域貢献活動について サロン活動 (1) サロン活動 月 6 回開催（0 と 5 のつく日）。体操と食事をみんなで行えるよう場所の提供。 ※習慣とすることが大切。行事ではなく日常の一部として実施。 ①目的 家ででの閉じこもりを防いで社会性を保つと同時に、栄養状態の維持・改善などを目的としている。 ②運営 1) 感染症予防に留意し発熱等の症状がないか確認。マスク着用は自由。 2) 自宅でのとじこもりの解消と健康づくりのため、リハビリ体操や口腔体操を実施。 3) 熱中症予防・感染症予防など、ミニ学習会や情報提供に取り組みます。 4) 「まちかどネット畝傍：市民の事業所支援ボランティア」メンバー：3 名程、職員 2 名程で協力。 ③参加状況 毎回、20 名前後の地域の方が参加。 つながり連絡員制度 地域の方へ安心を届ける。地域の方ひとりにつき職員ひとりが担当し、安否確認や体調確認、サロンへの参加のお誘いなどを行う。再開できるよう調整中。 学習会・その他 (1) 春と秋の「あすなら学習会」 それぞれ 3 回開催 内容 1) お役立ち情報の学習 2) あすならホーム畝傍の喜ばれた事例 3) ならコープの商品紹介 4) 意見交流 人数 春の学習会は 4 回開催し、ご家族を含む 78 名の方が参加。 秋の学習会予定：10/30(木)、11/20(木)、11/29(土) (2) 福祉講演会 年 2 回 (3) 福祉学習会 年 4 回（友の会でお知らせ） (4) 買い物支援 買い物に不便さを抱える人のために、ならコープの商品を積んだトラック「移動店舗」が週 1 回（土曜日 14：00）正面玄関付近に。 (5) ユニバーサル就労 精神的・社会的な要因で就労に困難を抱える方に対する就労支援。畝傍では 1 名の方を 2023 年 11 月まで支援。																							

	3. 橿原市地域包括ケアシステム連絡会の取り組み (1) 地域包括ケアシステム構築のため、橿原市内の地域密着型サービス事業所が連携し、学習や交流を通じて、職員のケアの質の向上、事業経営・運営の能力の向上を進め、地域に貢献し、住み慣れた地域で安心して長く暮らしていけるよう目指しています。 (2) 2021 年 12 月 17 日発足。主な活動…事業者間の学習、交流（年 2、3 回開催） (3) 学習交流会を企画 ①2025 年 5 月 23 日橿原市の地域密着型サービスの職員や行政が集まり、畝傍見学会や意見交流会を実施。 ②専門職向けに、認知症当事者の声を聞くことができる学びの場を計画中。 4. ご利用者に対する取り組み (1) ご利用者の様子 ①お出かけ 原則、制限なし。 ②自立支援 掃除、洗濯干し・たたみ、食器洗い・拭き。 長年していたことは体に染みついております。良い表情をされます。やりがいや生きがいにも繋がります。機会をつくり、居場所づくりを行います。 ③おでかけ企画、ランチ企画、おやつ企画 (2) 重大事故 発生なし (3) 取り組み状況と今後の取り組み ①8 月に急遽ご入居となった方の事例を報告。ご自宅では寝たきり状態。トイレに入るとこもってしまい、この暑い中なかなか動くことができない。庭に這って出られ、炎天下の中ご自宅の中へ戻れない状態に。ご家族が入居を強く希望。グループホームへご入居されてからは、1 日目は車椅子移動、2、3 日目は這って移動、4 日目から歩行器を使用して歩行。2 週間ほどで一人で歩くことができるようにまで状態が改善し、食欲も上がりご家族さんはご本人の姿に涙される。職員も毎日の良くなっておられる状態変化に喜んでいます。 ②入居者が主役になれるカフェを開催。AI を活用し看板を作成。 (4) 金銭管理についてキャッシュレス化 10 月～プリペイドカード導入
今後の予定	◎ホームの予定 (1) 自然災害避難訓練 年 2 回（9 月 1 日地震を想定、3 月 11 日風水害を想定） (2) 消防避難訓練 年 2 回（6 月 17 日開催済。次回は 11 月 18 日を予定） (3) 秋のあすなら学習会 日程：10 月 30 日(木)、11 月 20 日(木)、11 月 29 日(土) 時間：10:30～12:00
評価・要望・意見等	(1) 利用者・家族 - 入居して半年。家族も毎月面会に来てくれる。移動店舗で好きなものを買ったりできている。掃除を手伝うのが日課。毎日楽しいです。 (2) 地域代表・地域住民・行政 - 買い物と一緒にいくことでこれまでの家庭の味を共有できたり、男性入居者も楽しく役割をもって過ごされている報告があり、良い取り組みだと思いました。
その他必要な事項	◎虐待防止、身体拘束等適正化検討委員会等 (1) 2016 年 7 月から業務会議の中で、定期的に虐待防止委員会（半年に 1 回）、身体拘束適正化検討委員会（3 か月に 1 回開催）を開催し、ご利用者の行動を制限するような事例の有無を報告。また、虐待防止及び身体拘束適正化の検討に関する研修会を実施。※2025 年 6 月 25 日 身体拘束適正化検討委員会を開催。※2025 年 8 月 27 日 虐待防止委員会を開催。 (2) 2016 年 7 月開設以降、緊急、やむ得ない場合も含め、2025 年 9 月 19 日現在、ご利用者の行動を制限するような事例は発生していないことを報告。

次回開催予定：2025 年 11 月 21 日（金）10:00～（場所：あすならホーム畝傍 サロン）

あすならホーム畝傍 グループホーム 運営推進会議議事録

開催日時	2025 年 7 月 18 日（金） 10：00～10：40																							
運営推進会議メンバー （参加者）	1. 利用者、家族：1 名 2. 地域代表：5 名（民生委員会長）、（まちかどネット畝傍）（地域住民） 3. 市・包括職員：1 名（橿原市地域包括支援センター南エリア） 4. 職員：5 名																							
利用者登録状況 （7 月 1 日現在）	＜グループホーム入居者の介護度＞ <table><tr><td></td><td>要支援 2</td><td>要介護 1</td><td>要介護 2</td><td>要介護 3</td><td>要介護 4</td><td>要介護 5</td><td>合計</td></tr><tr><td>7 月</td><td>0</td><td>5</td><td>2</td><td>5</td><td>2</td><td>0</td><td>14</td></tr></table> ※平均介護度は 3 の状況									要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	7 月	0	5	2	5	2	0	14
	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計																	
7 月	0	5	2	5	2	0	14																	
報告事項	◎ホームの取り組み 1. 参加者の数名は、運営推進会議の参加が初めてとなる方がおられるため、あらためて「運営推進会議」の概要を説明した。 2. 地域貢献活動について サロン活動 （1）サロン活動 月 6 回開催（0 と 5 のつく日）。体操と食事をみんなで行えるよう場所の提供。 ※習慣とすることが大切。行事ではなく日常の一部として実施。 ①目的 家ででの閉じこもりを防いで社会性を保つと同時に、栄養状態の維持・改善などを目的としている。 ②運営 1) 感染症予防に留意し発熱等の症状がないか確認。マスク着用は自由。 2) 自宅でのとじこもりの解消と健康づくりのため、リハビリ体操や口腔体操を実施。 3) 熱中症予防・感染症予防など、ミニ学習会や情報提供に取り組みます。 4) 「まちかどネット畝傍：市民の事業所支援ボランティア」メンバー：3 名程、職員 2 名程で協力。 ③参加状況 毎回、20 名前後の地域の方が参加。 つながり連絡員制度 地域の方へ安心を届ける。地域の方ひとりにつき職員ひとりが担当し、安否確認や体調確認、サロンへの参加のお誘いなどを行う。再開できるよう調整中。 学習会・その他 （1）春と秋の「あすなら学習会」 それぞれ 3 回開催 内容 1) お役立ち情報の学習 2) あすならホーム畝傍の喜ばれた事例 3) ならコープの商品紹介 4) 意見交流 人数 春の学習会は 4 回開催し、ご家族を含む 78 名の方が参加。 （2）福祉講演会 年 2 回 （3）福祉学習会 年 4 回（友の会でお知らせ） （4）買い物支援 買い物に不便さを抱える人のために、ならコープの商品を積んだトラック「移動店舗」が週 1 回（土曜日 14：00）正面玄関付近に。 （5）ユニバーサル就労 精神的・社会的な要因で就労に困難を抱える方に対する就労支援。畝傍では 1 名の方を 2023 年 11 月まで支援。																							

	3. 橿原市地域包括ケアシステム連絡会の取り組み (1) 地域包括ケアシステム構築のため、橿原市内の地域密着型サービス事業所が連携し、学習や交流を通じて、職員のケアの質の向上、事業経営・運営の能力の向上を進め、地域に貢献し、住み慣れた地域で安心して長く暮らしていけるよう目指しています。 (2) 2021 年 12 月 17 日発足。主な活動…事業者間の学習、交流（年 2、3 回開催） (3) 学習交流会を企画 ①2025 年 5 月 23 日橿原市の地域密着型サービスの職員や行政が集まり、畝傍見学会や意見交流会を実施。 ②専門職向けに、認知症当事者の声を聞くことができる学びの場を計画中。 4. ご利用者に対する取り組み (1) ご利用者の様子 ①お出かけ 原則、制限なし。 ②自立支援 掃除、洗濯干し・たたみ、食器洗い・拭き。 長年していたことは体に染みついております。良い表情をされます。やりがいや生きがいにも繋がります。機会をつくり、居場所づくりを行います。 ③おでかけ企画、ランチ企画、おやつ企画 (2) 重大事故 発生なし (3) 取り組み状況と今後の取り組み ①5 月に 1 名のご入居者の看取りケアをさせていただきました。 ご家族の『覚悟はできているので最期まであすならで過ごしたい。』という意向を尊重し対応。『一緒に本人の傍で一泊できてよかった。皆さんありがとうございます。』とお言葉を頂きました。お通夜への参列を通して、ご入居者の人生やご家族の思いを深く感じることができました。 ②おでかけ企画を実施しました。 ご入居者の『蕎麦が食べたい!』という思いを実現。外出することで良い刺激になり、とても良い表情で楽しんで過ごされていました。 (4) 金銭管理についてキャッシュレス化を検討中 10 月～プリペイドカード導入予定
今後の予定	◎ホームの予定 (1) 自然災害避難訓練 年 2 回（9 月 1 日地震を想定、3 月 11 日風水害を想定） (2) 消防避難訓練 年 2 回（6 月 17 日開催済。次回は 11 月 18 日を予定） (3) 秋のあすなら学習会 日程：10 月 30 日(木)、11 月 10 日(月)、11 月 29 日(土) 時間：10:30～12:00
評価・要望・意見等	(1) 利用者・家族 ・面会時間を大切に過ごせている。はじめは家で最期までと思っていたが、あすならさんに入居させてもらえて良かった。本人が落ちついて過ごせている様子を、自身も安心して過ごすことができている。 (2) 地域代表・地域住民・行政 ・長くつながりを持つことの取り組みへの安心感がある。まわりに案内もしていけるので、GH の空き状況を都度発信してもらえたらと思います。
その他必要な事項	◎虐待防止、身体拘束等適正化検討委員会等 (1) 2016 年 7 月から業務会議の中で、定期的に虐待防止委員会（半年に 1 回）、身体拘束適正化検討委員会（3 か月に 1 回開催）を開催し、ご利用者の行動を制限するような事例の有無を報告。また、虐待防止及び身体拘束適正化の検討に関する研修会を実施。※2025 年 6 月 25 日 身体拘束適正化検討委員会を開催。内容：「監視」と「見守り」の違いを理解し、適切なケアを継続する。 (2) 2016 年 7 月開設以降、緊急、やむ得ない場合も含め、2025 年 7 月 18 日現在、ご利用者の行動を制限するような事例は発生していないことを報告。

次回開催予定：2025 年 9 月 19 日（金）（場所：あすならホーム畝傍 サロン）

あすならホーム畝傍 グループホーム 運営推進会議議事録

開催日時	2025 年 5 月 16 日（金） 10：00～11：00																
運営推進会議メンバー （参加者）	1．利用者、家族：1 名 2．地域代表：3 名（民生委員会長）、（まちかどネット畝傍）（地域住民） 3．市・包括職員：1 名（橿原市地域包括支援センター 南エリア） 4．職員：5 名																
利用者登録状況 （5 月 1 日現在）	＜グループホーム入居者の介護度＞ <table><tr><td></td><td>要支援 2</td><td>要介護 1</td><td>要介護 2</td><td>要介護 3</td><td>要介護 4</td><td>要介護 5</td><td>合計</td></tr><tr><td>1 月</td><td>0</td><td>3</td><td>2</td><td>6</td><td>3</td><td>0</td><td>1 5</td></tr></table> ※平均介護度は 3 の状況		要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	1 月	0	3	2	6	3	0	1 5
	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計										
1 月	0	3	2	6	3	0	1 5										
報告事項	◎ホームの取り組み 1．参加者の数名は、運営推進会議の参加が初めてとなる方がおられるため、あらためて「運営推進会議」、法人「社会福祉法人協同福祉会」及び「あすならホーム畝傍」の概要を説明した。 2．地域貢献活動について サロン活動 （1）ランチ企画 月 6 回（0 と 5 のつく日）実施。 ①目的…家での閉じこもり生活を開放し、社会性を保つと同時に、栄養状態の維持・改善に寄与する。 ②運営 1）新型コロナウイルス感染防止に留意。2）自宅での閉塞感の解消と健康づくりのため、リハビリ体操と口腔体操に取り組む。 3）暮らしの知恵を学び、生活に役立てるため、毎月テーマ「ヒートショック予防」などを決め、学習や情報提供に取り組む。 ③現状…毎回、17 名前後の地域の方が参加。 つながり連絡員制度 ・安心を届けるため、サロン活動へのお誘い、安否確認（脱水・熱中症、自然災害） 学習会・その他 （1）春と秋の「あすなら学習会」を春 3 回、秋 4 回実施。お役立ち情報の学習、あすならホーム畝傍の喜ばれた事例紹介、ならコープの商品紹介、意見交流。 ・春の学習会日程 4 月 25 日（金）、5 月 17 日（土）、6 月 18 日（水）、6 月 30 日（月） （2）福祉講演会（法人）…毎年、年 2 回開催。 （3）福祉学習会（法人）…年 4 回程度、テーマを設定し県内各地で開催。 （4）買い物支援…買い物に不便さを抱える人のために、ならコープの商品を積んだトラックが週 1 回（土曜日）、「移動店舗」が巡回。 （5）ユニバーサル就労…精神的・社会的な要因で就労に困難を抱える方に対する就労支援。2 月から、新規の就労者を受け入れる予定。 3．橿原市地域包括ケアシステム連絡会の取り組み （1）当会は、地域包括ケアシステム構築のため、橿原市内の地域密着型サービス事業所が連携し、学習や交流を通じて、職員のケアの質の向上、事業経営・																

	運営の能力の向上を進め、樫原市民に貢献し、住み慣れた地域で安心して暮らせることを目指す。2021年12月17日発足。主な活動…事業者間の学習、交流。年4回程度。 (2) 2024年8月30日学習会開催。テーマ「認知症の人の意思決定支援、ACP」（講師：加納麻子医師＜社会医療法人平和会吉田病院＞）。参加23名。 (3) 2025年1月28日10:00～12:00講演会。テーマ「認知症のある方が住み慣れた街で安心して暮らせるために備えたい理解」（講師：大石 智（北里大学医学部精神科学 講師）。参加80名。 4. 利用者に対する取り組み…「たより」参照 (1) 入居者の様子 ①お出かけ… 原則、制限なし。ただし、感染防止に留意。できるだけ、密な場所は、避ける。 ②お手伝い（お役立ち）[自立支援]…掃除、洗濯もの干し・たたみ、食器洗い・拭き。 ③おやつ企画、食事企画 (2) 重大事故 発生なし (3) 取り組み状況と今後の取り組み ①4月には順番に駅前や樫原市の桜並木をお花見に行きました。 お天気がいい日が多く皆さんお花見に行くことができました。 ②4月に1名の入居者さんの看取りケアをおこないました。
今後の予定	◎ホームの予定 (1) 新設の看護小規模多機能型居宅看護サービス及び新サロンスペースは、2025年6月事業開始予定。 (2) 春のあすなら学習会 日程：4月25日（金）、5月17日（土）、6月18日（水）、6月30日（月） 時間は10:30～12:00
評価・要望・意見等	1. 利用者・家族 ・利用者本人から挨拶を頂いた。日中は食事前後のお手伝いや洗濯物の片づけを手伝っています。ゆっくり本を読んだり、みんなでお話をしています。 2. 地域代表・地域住民・行政 ・入居施設は待機者になることが多い。空いているかどうかはタイミング次第なところが多いと思う。空いている時は発信をしてください。
その他必要な事項	◎身体的拘束等の適正化のための対策を検討する委員会等 1. 2016年7月から業務会議の中で、定期的に虐待防止委員会（2023年度：半年に1回）、身体拘束適正化委員会（2023年度：3か月に1回開催。）を開催し、入居者の行動を制限するような事例の有無を報告している。また、虐待防止及び身体拘束適正に関する学習（2024年度：年2回＜①6・7月（個人情報保護含む）②2025年2月＞）を実施。 2. 2016年7月以降、緊急やむ得ない場合も含め、2025年3月現在、入居者・利用者の行動を制限するような事例は発生していないことを報告した。

次回開催予定：2025年7月18日（金）（場所：あすならホーム畝傍 新サロンスペース）